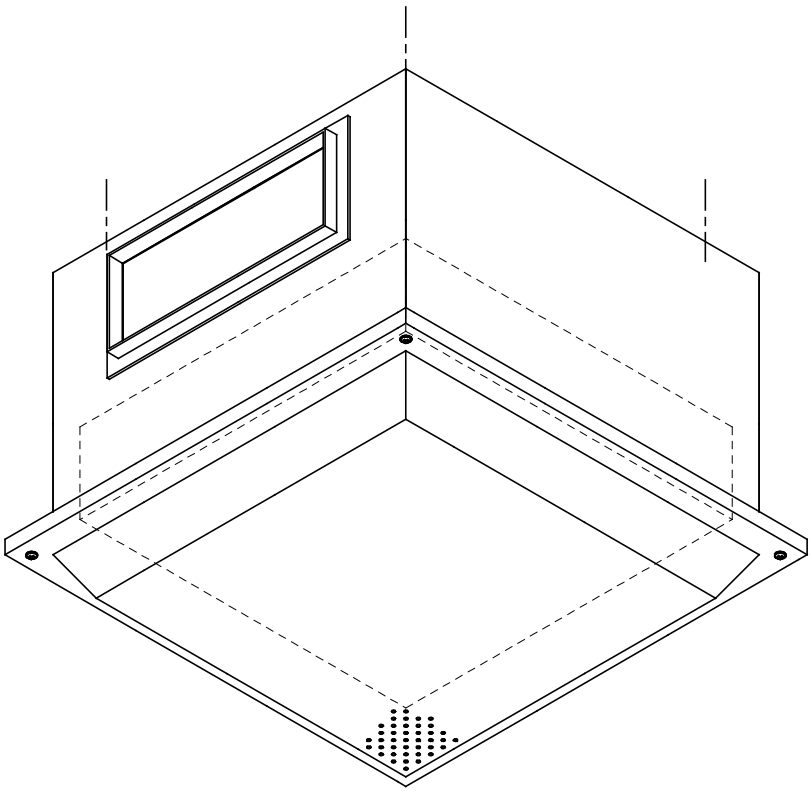
クリーンエアプロジェクタ

ＣＡＰ

取　扱　説　明　書

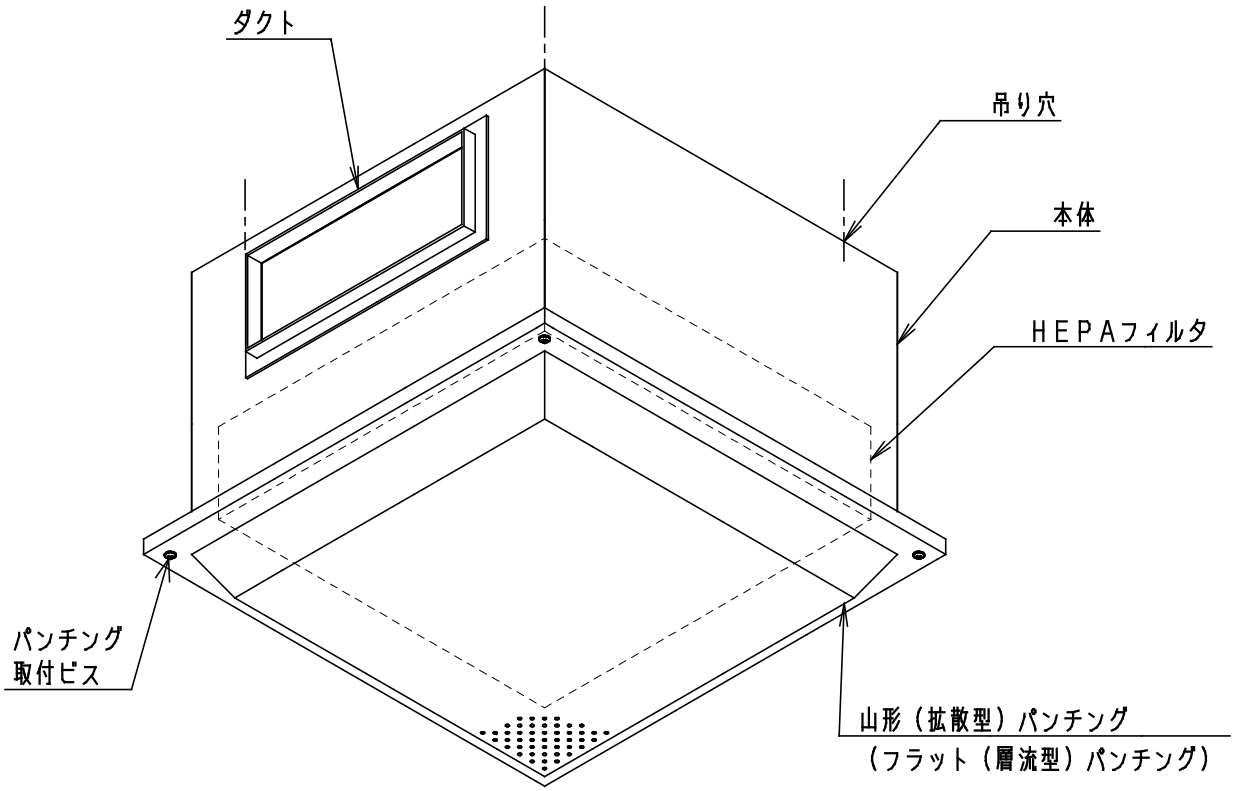


ニッタ株式会社

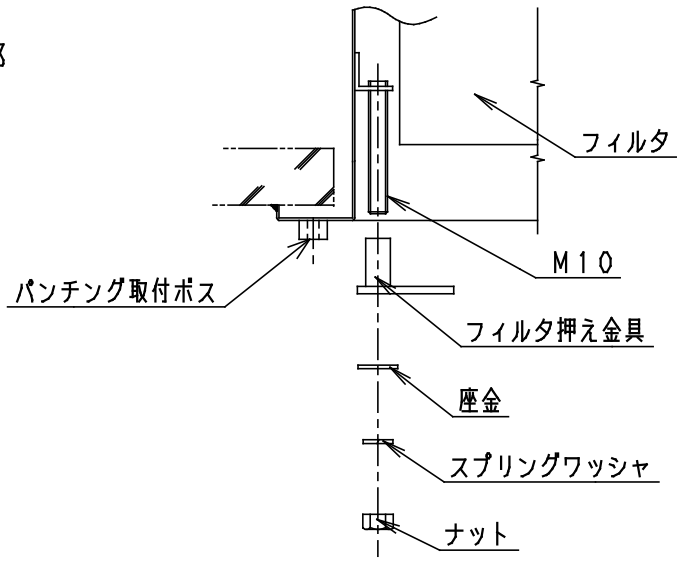
NITTA CORPORATION

この度は、ニッタ株式会社の吹出口、クリーンエアプロジェクタ（ＣＡＰ）を御採用いただきまして誠に有り難うございます。
この吹出口を正しくお取り扱いしていただく為に、この取扱説明書をよくお読み下さるよう、よろしくお願いします。

１．各部名称



フィルタ取付部



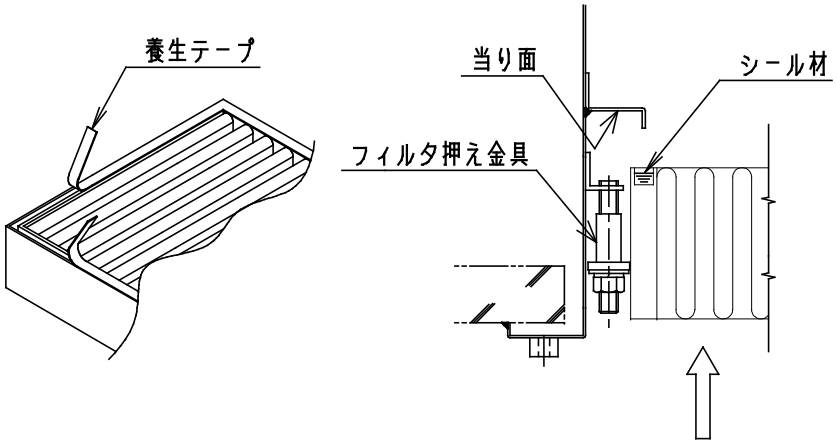
2．フィルタ取付

フィルタ取付前に本体内部を清浄し，フィルタ押え金具をあらかじめゆるめて下さい。
ＨＥＰＡフィルタは非常に壊れ易い物ですから
取扱いには十分注意して下さい。
（ＨＥＰＡフィルタにはチャンネルゲルシールタイプとガスケットシールタイプの２種類あります。）

2－1．チャンネルゲルシールタイプ

（型式ＣＡＰ－Ｃ※－※※）

※このフィルタは必ず養生テープをはがしてから
フィルタ取付を行って下さい。

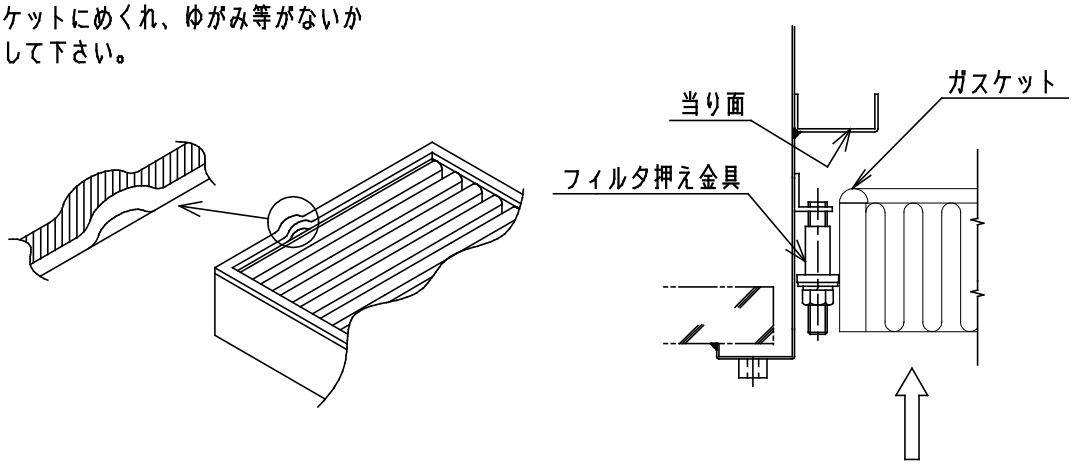


フィルタ枠材のシール材が本体フィルタ当たり面に
ぴったり入る様に注意して下さい。

2－2．ガスケットシールタイプ

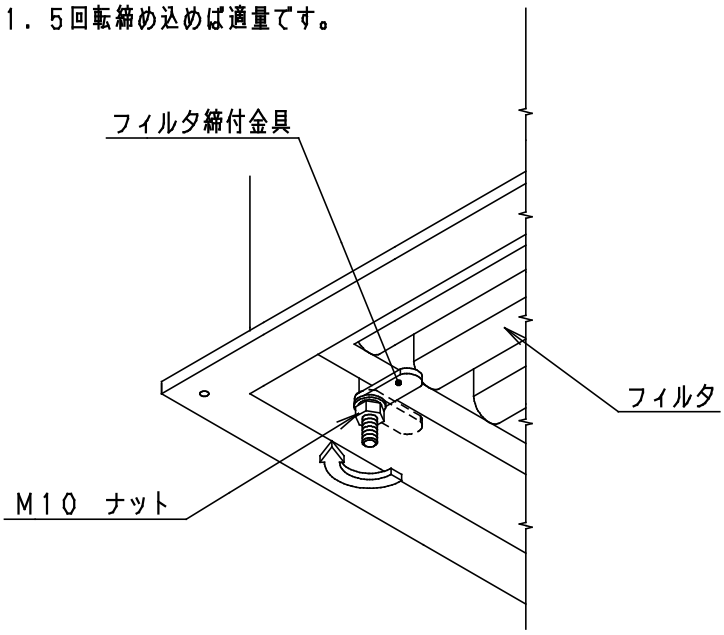
（型式ＣＡＰ－Ｇ※－※※）

※ガスケットにめくれ、ゆがみ等がないか
確認して下さい。



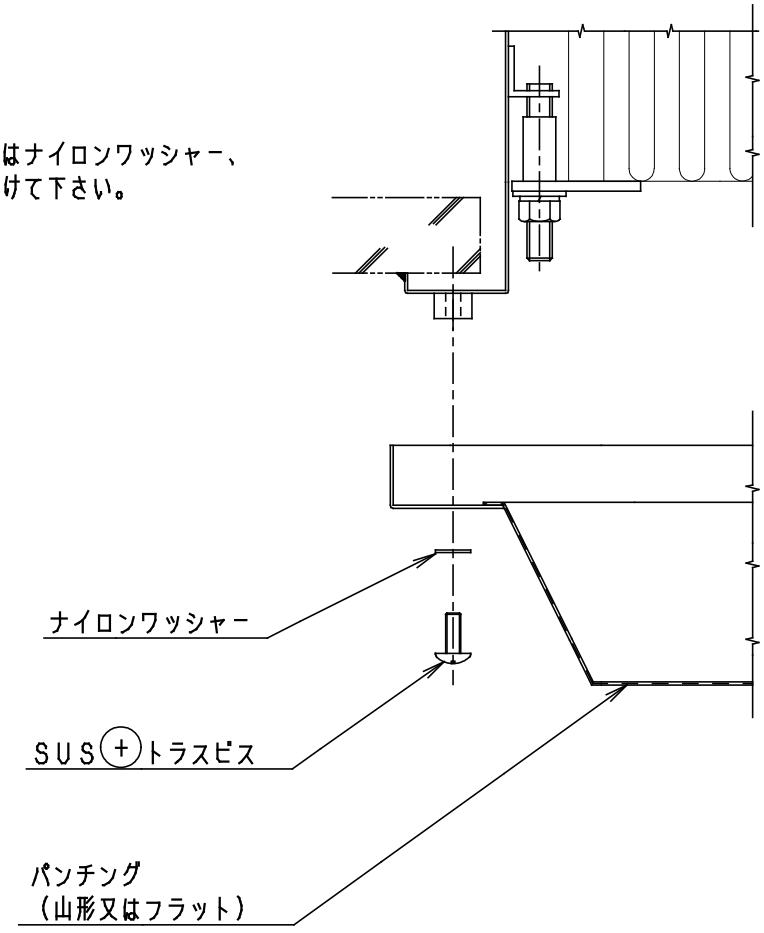
フィルタ枠材のガスケットが本体フィルタ当り面に
ぴったり入る様に注意して下さい。

2－3．フィルタ押え金具を９０°回転させ、
Ｍ１０ナットを締め込んでセットします。
押え金具の締付は具合は、バネ座金が沈んだ後
１～１．５回転締め込めば適量です。



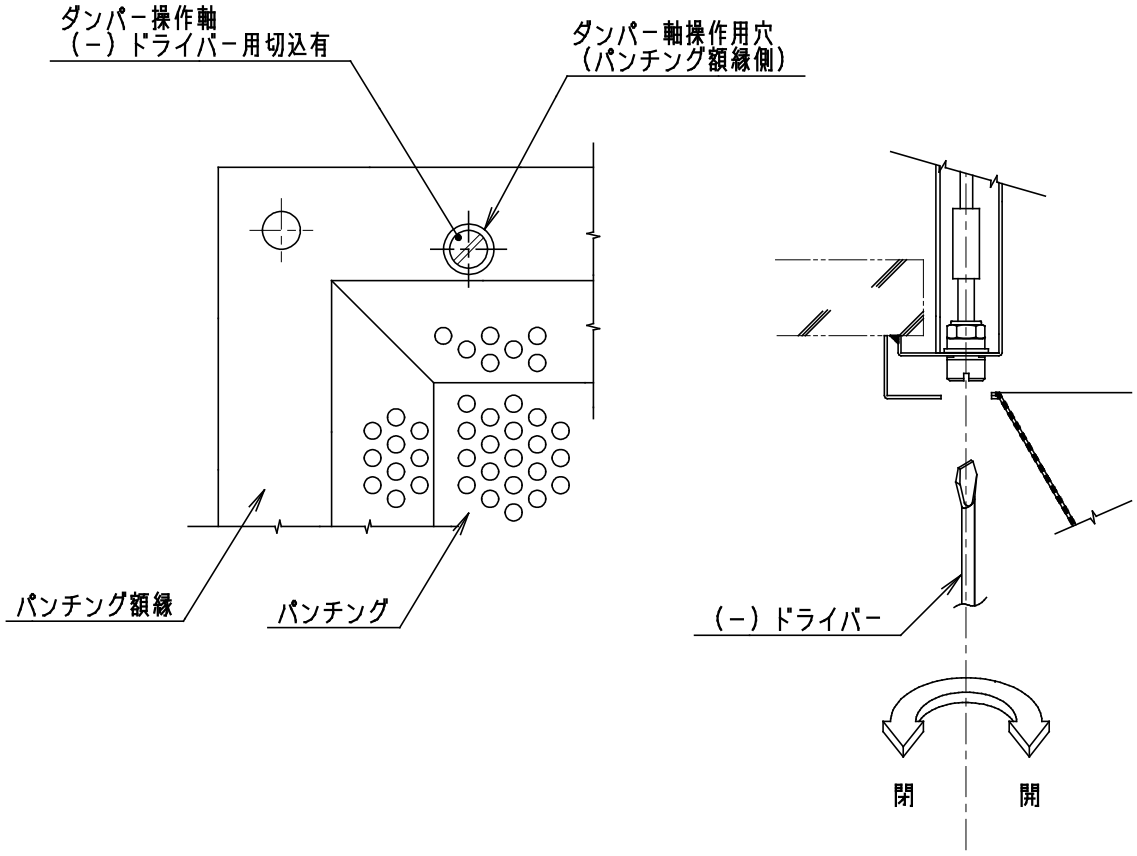
３．パンチング取付

１．山形又はフラットパンチングはナイロンワッシャー、
ＳＵＳ⊕トラスビスで取付けて下さい。



４．ダンパー付ＣＡＰ（オプション）

１．ダンパー付ＣＡＰ（吹出口）については、ダンパ操作軸穴より開閉を行って下さい。



・ダンパ操作穴より（－）ドライバーを差込み、ダンパー操作軸を操作します。

（（－）ドライバーの先端厚みは　２ｍｍ以下を使用ください）

5．試運転・調整

据付けの完了した装置は、試運転時に次の事項を調整して下さい。

1．風量の調整

ダクト内のダンパー又はダンパー付は調整用軸を回して風量を調整して下さい。

2．初期圧損の確認をして下さい。

3．リークチェックの確認が必要な場合リークテストを実施ください。（特殊工事が必要です）

6．保守・管理・その他　注意事項

（ユニットの保守）

1．通常の運転の保守

異常な振動、異音が無いことを確認します。

2．定期点検時（フィルタ交換時）

本体は特に必要ありません。ダンパー付の場合ダンパーの開閉が正常に動作するか操作軸を回してダンパーの羽根が開閉することを確認します。（フィルタを交換時にダクト側を確認します）

（フィルタ交換時には本体側が汚れる場合があります。フィルタを取付ける場合本体側を十分清掃ください）

（フィルタの保守）

1．通常の運転の保守

フィルタの圧力差（差圧計の値）が異常な値を示さないことを確認します。

2．フィルタ寿命・交換時期

ＨＥＰＡフィルタ寿命は、差圧計で表示される圧力差を目安とします。機器図に最終交換目安値が表示されてない場合は初期の圧力損失の約２倍を目安としてください。また最終圧力損失値に達しない場合でも、１年以上は交換を推奨します。

（その他・注意事項）

1．正常状態ではフィルタは徐々に塵埃を捕捉し、差圧が上昇していきます。それにしたがって風量の低下が生じます。所定風量になるよう、換気量を調整ください。

2．内蔵されるフィルタは所定の定格風量以上では使用しないでください。また最終圧力損失を超えて使用しないでください。

3．内蔵されるフィルタの交換は計画的に行なってください。フィルタ及び付属品の製作納期には十分注意ください。

（お問い合わせください）交換品は、弊社標準品をお使いください。

4．本製品の改造等については弊社に相談ください。

8．お問合せ先　（２００６年０３月現在）

ニッタ株式会社　クリーンエンジニアリング事業部

本　　社　：　〒５５６－００２２　大阪市浪速区桜川４－４－２６

ＴＥＬ　０６－６５６３－１２３１（代）　ＦＡＸ　０６－６５６３－１２３２

東京支店　：　〒１０７－００５２　東京都港区赤坂２－２－１２　赤坂山王スクエアビル

ＴＥＬ　０３－３５８６－２７６３（代）　ＦＡＸ　０３－３５８６－２７６４

名古屋支店：　〒４５０－０００３　名古屋市中村区名駅南１－１７－２３

ＴＥＬ　０５２－５８９－１３０１（代）　ＦＡＸ　０５２－５６６－２００７

福岡営業所：　〒８１２－００１１　福岡市博多区博多駅前４－２８－２

ＴＥＬ　０９２－４７３－６６５１（代）　ＦＡＸ　０９２－４７４－２６５８

ＵＲＬ　：　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｎｉｔｔａ．ｃｏ．ｊｐ